

## 5091 ママチャリ日本の旅：途上での時間の使い方

結論から言えば、**臨機応変**。自由は不自由という言葉もある。**自由にも限度**がある。

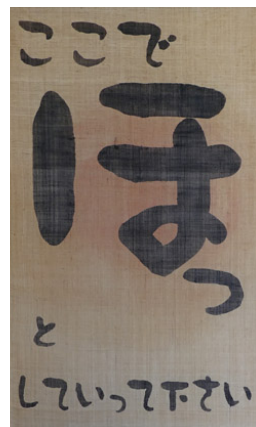
調子に乗り過ぎると、不測の事態も、起こりかねない。

これはいいことであれば、いいのだが、そうでない場合、後遺症というか、

今後の人生や旅に、尾を引いて、大きな影響が出る。**我慢**という、自分との戦い。

足元の道。凸凹もある。パンクはご免こうむりたい。近鉄線、志摩磯部の駅舎が見えた。

そして、出会った、喫茶・十字路。窓から列車が見える。



もちろん、マスクをして、3蜜を避ける。しかし、会話はある。  
昼食の注文。日常、揚げ物は、避けているが、カツ定食を注文。食事前にコーヒー注文。  
ブラックのコーヒーが、真っ先に、飲みたかった。



作戦タイム



美味しくいただいた。元気も回復。何しろ、**今日は、京都を早立ち。**  
いろいろな雑誌もあった。質問もして、情報入手。  
人と会話が少ない、日常より、気を使うが、こうした会話で、元気をもらえる。

そして、近鉄線と並行して走る 167 号線を選択。これリスク管理。  
往路の車窓から、復路は、峠もあって、厳しいと確認。  
特に**五知峠**、道草を重ねながら、鳥羽駅へ。そして、またまた、道草、**いざわのみや 伊雑宮**。  
**伊勢神宮・内宮の別宮**。ここは、伊勢道、鳥羽道など、交通の要衝。